

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	西浦地区	回数	第4回
日時	平成30年1月21日(日) 午後1時30分～午後4時30分まで		
会場	西浦公民館 講堂	参加者数	12名

1. 再配置プラン案について

1) 提案されている再配置プラン案

異年齢の人たちの交流ができる配置であり、まだ建物の新しい児童館をそのまま活用できるのでB案に対する期待が大きい。

- ・ 異年齢の人たちの交流ができる配置であり、まだ建物の新しい児童館をそのまま活用できるのでB案に対する期待が大きい。

形原地区と中学校が統合されるC案では教育環境の改善が期待できる。ただ、西浦中学校が形原中学校へ編入する選択肢しかないような印象があるが、敷地はどちらの地区になるかが統合して新しい中学校を作るという考えで取り組まないと教育環境の改善は難しいと思う。

- ・ C案では形原地区と中学校が統合されるので教育環境の改善が期待できる。ただ、中学校の統合案については、西浦中学校が形原中学校へ編入する案しかないような印象があるが、敷地はどこになるかが統合して新しい中学校をつくるという考えで取り組まないと教育環境は改善されないと思う。

中学校を形原に編入するC案の得点が高いのを見ると、「西浦地区が我慢して編入を受け入れれば良いということか」と思ってしまう。C案は教育の面から考えれば良いと思うが、形原地区への人口流出を招く可能性があるため地区活性化の点では疑問を感じる。

- ・ 点数をつけると、中学校を形原に編入するC案の得点が高いので、「西浦地区が我慢して編入を受け入れれば良いということか」と感情的に思ってしまう。
- ・ C案は教育の面から考えれば良い案だと思うが、形原地区への人口流出を招く可能性があるため「西浦の活性化」の点では疑問を感じる。

海に見える西浦の生活環境が評価されて、今後は人口が増える可能性が高いと思う。先端技術の大学を誘致して若い世代を増やすなど、地域活性化に取り組みばいま無理に再編を実施する必要はなくなるのではないかと。

- ・ 海に見える西浦の生活環境が評価されて、今後は人口が増える可能性が高いと思う。そうすればいま無理に再編を実施する必要はなくなる。
- ・ ロボット開発など先端技術の大学を西浦に誘致して、若い世代を増やして地域を活性

化されられないだろうか。

今の施設配置が一番良いと思うので、できるだけ各施設が今の場所に残せるのがベストの案だと思う。複合化するとしても公民館を小学校に入れるくらいではないか。少なくとも、小中学校は別々にあった方がよい。

- ・ 今の施設配置が一番良いと思うので、できるだけ各施設が今の場所に残せるのがベストの案だと思う。複合化するとしても公民館を小学校に入れるくらいではないか。
- ・ 少なくとも、小中学校は別々にあった方がよい。

児童館の建物はまだ新しく、非常用電源も備えているので、今のまま使い続ける方が良いと思う。

- ・ 現在の児童館は施設がまだ新しく、非常用電源も備えているのでそのまま使う方がよいと思う。

児童館を移転した場合は建物を民営を基本としたカフェにする、再編によって空いた市有地を駐車場として利用するなど、再編後に残る建物や土地は地域住民の生活に寄与する形で有効活用してほしい。

- ・ 公共施設の再編後に残る市有地は売却するとの話だったが、駐車場利用など地域住民にとって有効に使うようにしてほしい。
- ・ 児童館を保育園に移転した場合、児童館の建物は比較的新しく有効活用すべきだと思うので、民営を基本とした活用としてはどうか。高齢者が運営するカフェ（生涯学習でつくった作品の展示や即売も行う）などが考えられる。

2) 新規提案

『中学校は小学校敷地に移転して複合化し、公民館と児童館は保育園敷地に移転して複合化する案』を提案したい。小学校と中学校が複合化されるので教育環境の充実が図られるし、A案の問題である「機能を集約しすぎていること」や「保育園児と中学生が同じ敷地にいることによる不具合」が解消できる。

- ・ A案とB案の良いところを採用して、『中学校は小学校敷地に移転して複合化し、公民館と児童館は保育園敷地に移転して複合化する案』を新たに提案したい。これによって、小学校と中学校が複合化されるので教育環境の充実が図られる。また、A案の問題である「機能を集約しすぎていること」や「保育園児と中学生が同じ敷地にいることによる不具合」が解消できる。

B案とD案では2つの拠点が高の上下に分離してしまい相互の連携が難しい。高の下に2つの拠点を作ることができれば、駐車場の融通や活動の連携がしやすくなり、保育園、小

学校、児童館の送迎の利便性も向上する。

- ・ これまで2拠点モデルとしてB案とD案があったが、これだと拠点施設が丘の上と下で分離しており連携が難しい。一方、A案の一体感も捨てるのがたいので、丘の下に2つの拠点をつくってはどうか。
- ・ 現状で行事を実施する際に公民館や小学校、保育園で駐車場を融通しあうことがあるが、B案やD案のように2つの拠点を現状の小学校（丘の下）と中学校（丘の上）に分けてしまうとそういう融通も利かなくなるので、2つ拠点を作る場合には丘の上下に分離しない方が良い。
- ・ 小学校から児童館への送迎の問題が現状あるので、児童館を小学校に近づけることは有効であり、それが保育園の場所になるだけでもだいぶ違う。
- ・ 小学校と中学校の複合化（1号館）と公民館や児童館と保育園を複合化（2号館）することで、相互の連携や活性化が図られる。また1号館と2号館の2つの施設が隣接することで、イベント時の駐車場を融通するなど連携がとりやすい。

『A案をベースとし、保育園は今の立地のまま独立させる案』を提案したい。保育園を別にすれば園児はのびのび過ごせるし、中学生は落ち着いて学習ができるだろう。

- ・ A案をベースとし、保育園を独立させる新しい案を提案したい。保育園を別にすれば園児はのびのび過ごせるし、中学生は落ち着いて学習できるので、メリットがある。
- ・ 児童館の立地に保育園を移転すると送り迎えの際に混雑が生じるので、保育園を独立させる場合は今の立地のままが良い。

各案とも児童館をそのまま残すバージョンがあっても良いのではないか。

- ・ 各案とも児童館をそのまま残すバージョンがあっても良いのではないか。

2. 評価表について

1) 評価方法全般

点数で示してしまうと全ての項目を同じ重さで判断することになってしまうが、項目によって重視すべき度合いが違うと思う。◎、○、△の合計数を示し、どの項目でどんな評価がされているかといったざっくりとした分布を見て、判断をした方が良いのではないか。

- ・ 点数表があっても良いが、点数で示してしまうと全ての項目を同じ重さで判断することになってしまう。項目によって重視すべき度合いが違うと思うので、◎、○、△の数やどの項目でどんな評価がされているかといったざっくりとした分布で評価内容を判断した方が良いのではないか。
- ・ 各案の◎、○、△の合計数を示す欄があった方が良いのではないか。

学校は今回の公共施設再編で大きく影響を受けるので、再編はより良い教育環境を実現するチャンスだと思う。評価の際には「教育環境の適正化」の項目にもっと重点を置いてほしい。

- ・ 「教育環境の適正化」の項目にもっと重点を置いてほしい。他の項目よりも2倍くらい重みづけがあってもよい。学校は今回の公共施設再編で大きく影響を受けるので、再編はより良い教育環境を実現するチャンスだと思う。

評価の妥当性を判断するには、現状の西浦中学校と形原中学校の部活動の種類などのデータが必要だと思う。学校の先生などの現場の意見や専門家の意見も聞いた上で判断してほしい。

- ・ 評価の判断の際には学校の先生などの現場の意見や専門家の意見を聞いて欲しい。
- ・ 評価の妥当性の判断材料として、現状の西浦中学校と形原中学校の部活動の種類を知りたい。

2) 視点ごとの評価項目

①地区の活性化（まちづくり）

<全般>

施設間の関係性だけではなく、道路整備や住宅の計画による地域活性化など、もっと広い意味で地域活性化を考えて評価をしたいが、地区のまちづくりの全体ビジョンの議論が中途半端なままになっている。

- ・ 地区のまちづくりの全体のビジョンの議論が半端なままになっている。各施設間の関係性だけを考えるのではなく、もっと広い意味で地域活性化を考えて各案がどういう位置づけにあたるかの評価をしたい。道路整備や住宅の計画による地域活性化なども踏まえた上で評価したい。

<イ>

C案では小学校や保育園が複合化されて地域の一体感が高まる要素はあるが、中学校が移転することで地域の一体感が下がる側面もあるため◎ではなく○ではないか。

- ・ C案では小学校や保育園が複合化されて地域の一体感が高まる要素はあるが、中学校が移転することで地域の一体感が下がる側面もあるため◎ではなく○ではないか。

「一体感」という言葉が抽象的でわかりにくい。何を達成しようとしているのか明確になっていない。

- ・ 「一体感」という言葉が抽象的でわかりにくい。何を達成しようとしているのか明確になっていない。

<ウ>

住民同士や世代間の交流機会の増減が公共施設の再配置の影響を受けるとは思えない。項目自体が必要ないのではないか。

- ・ C案だけが△になっているが、公共施設の再配置によって住民同士や世代間の交流機会が影響を受けるとは思えない。項目自体が必要ないのではないか。

公共施設の再配置が住民同士や世代間の交流機会に影響を与える可能性も否定できないので、項目の削除や評価の変更の必要はないと思う。

- ・ 公共施設の再配置が住民同士や世代間の交流機会に影響を与える可能性も否定できないので、結果的に評価を変える必要はないと思う。

<エ>

公共施設の再配置が、西浦地区の地域性に影響を与えるとは思えない。

- ・ 「西浦の地域性」についても<ウ>と同様に、公共施設の再配置が地域性に影響を与えるとは思えない。

②人口減少・少子高齢化社会への対応

<オ>

いきがづくりは個人の問題であり、公共施設の再配置とはあまり関係がないと思う。いきがいは高齢者になってから探すのではなく、若い時から自分で見つけていくべきものではないか。

- ・ 「いきがづくり」は各個人の問題であり、公共施設の再配置とはあまり関係がないと思う。「いきがい」は高齢者になってから探すのではなく、若い時から自分で見つけていくべきものと思う。

D案では公民館が高台に移転するので高齢者が行きづらくなる。今よりも高齢者の生きがづくりにつながらない可能性が高いので、評価は○ではなく△ではないか。

- ・ D案は公民館が高台に移転する案なので、高齢者が公民館に行きづらくなる。今よりも高齢者の生きがづくりにはつながらない可能性が高いので、評価は○ではなく△になるのではないか。

<カ>

C案では小学校に公民館や保育園が複合化されて世代間交流が増える可能性があるが、一方で中学校が移転するため交流が減る側面もある。評価は◎ではなく○ではないか。

- ・ C案では小学校に公民館や保育園が複合化されて世代間交流が高まる要素はあるが、中学校が移転することで、世代間交流が減る側面もあるため◎ではなく○ではないか。

<キ>

中学生であっても怪我や病気の際に送迎する可能性があるので、「送迎の利便性」の評価には中学校も含めるべき。C案では小学校や保育園の複合化で送迎の利便性が上がるが、中学校は移転するため利便性が下がる。また、小学校に児童館や保育園が複合化されると送迎時に混みあうことも考えられるので、C案の評価は◎ではなく○ではないか。

- ・ 「送迎の利便性」については、例えば中学生であっても怪我や病気の際に送迎する可能性はあり、小学校や保育園の複合化で送迎の利便性が上がる要素はあるが、中学校

が移転することで送迎の利便性が下がる側面もあるためC案の評価は◎ではなく○ではないか。

- ・ 中学校が形原に移転すると送迎の利便性は下がるし、小学校に児童館や保育園が複合化されると送迎時に混みあうことも考えられるので、C案の◎の評価は過大評価である。

小学校と保育園が複合化されないB案だけが評価が○と低いが、現小学校敷地と現中学校敷地は評価に差をつけるほど離れているとは思えない。

- ・ 複合化されないB案だけが評価が○と低いが、現小学校敷地と現中学校敷地で評価に差をつけるほど離れているとは思えない。

中学校敷地に小学校が移ると送迎の負担は大きくなると思う。両敷地の距離の差があるので、評価が異なるのは妥当ではないか。

- ・ 中学校敷地に小学校が移ると送迎の負担は大きくなると思う。両敷地の距離の差はある。

地区内のどこに住んでいるかによって利便性の差が大きい。どの地区を基準に考えるかで評価にも違いが出てくるのではないか。

- ・ 地区内のどこに住んでいるかによって利便性の差が大きい。評価にも違いが出てくるのではないか。

<ク>

「子どもを見守る環境」については中学生のことも考慮に入れるべきだ。C案では小学校や保育園の複合化で見守りの環境が向上する要素はあるが、中学生が地区から離れて大人の目が行き届かなくなるのに加え、中学生が地域の小学生以下の子どもに目を配る面も減るため、一長一短もしくはマイナスの方が大きい。評価は◎ではなく○か△ではないか。

- ・ 「子どもを見守る環境」については、小学校や保育園の複合化で見守りの環境が向上する要素はあるが、中学校が移転することで中学生が地域の小学生以下の子どもに目を配る面が減るためC案の評価は◎ではなく○ではないか。
- ・ 「子どもを見守る環境」については、中学生も対象とすべき。その点で考えると、中学生が地区から離れて目が行き届かなくなるC案の評価は△だと思う。

<ケ>

小学校と保育園の複合化で子ども同士の交流が増える要素はあるが、中学校が移転することで中学生と交流する可能性が減る面もあるため、C案の評価は◎ではなく○ではないか。

- ・ 「子ども同士の交流」について、小学校と保育園の複合化で交流が増える要素はあるが、中学校が移転することで中学生と交流する可能性が減る面があるためC案の評価は◎ではなく○ではないか。

③教育環境の適正化

<全般>

教育環境についてはワークショップ参加者ではわからないことが多いので、わからずに判断して再編した後でいろいろな問題が起きないか心配だ。教員などの現場をよく知る人や当事者である生徒の意見を聞くべきだと思う。

- ・ 教育環境の評価については、教員や生徒など現場をよく知る人の意見を聞くべき。ワークショップ参加者ではわからないことが多い。わからずに判断すると統合した後でいろいろな問題が起きないか心配である。
- ・ 自分が聞いた話では、西浦中学の生徒たちは形原中学と一緒にするのはイヤだと言っている。

学級崩壊が起きていないかなどの子ども達の現状や教員の負担といった定性的なデータと、現状や統合後の生徒数、教員数、クラブ数などの定量的なデータの両方から見た教育の状況がわからないと、教育環境の適正化の評価は判断できない。ワークショップで議論するなら、後に問題が起きない様にそういったデータを示してほしい。

- ・ 学級崩壊が起きていないかなどの子ども達の現状や教員の負担といった定性的なデータと、現状の生徒数、クラス数、クラブ数などの定量的なデータの両方から見た教育の状況がわからないと、教育環境の適正化の評価は判断できない。教育状況がわからないままでした評価に基づいて統合や複合をすると、後に問題が起こるのではないか。ワークショップで議論するならそういったデータを示してほしい。
- ・ 西浦中学校の統合については公共施設の再編の視点で判断するべきでなく、統合後のクラス人数、教員数、クラブ数など、専門的な教育環境の視点で議論して判断する必要があるのではないか。

生徒数が多ければ教育環境が良くなると単純に考えているように思えるが、そんな単純に判断してはいけないと思う。

- ・ 生徒数が多ければ教育環境が良くなると単純に考えているように思えるが、そんな単純に判断してはいけない。

小学校と中学校が一緒にあることにより交流が生まれる。

- ・ 小学校と中学校が一緒にあることにより交流が生まれる。

小学生にとっては中学生が近くにいると交流があって良いだろうが、高校につながる学習、部活、生活の場を整えることを考えると、中学生にとっては形原中と統合された方が良いのではないか。

- ・ 小学生にとっては中学生が近くにいると交流があって良いだろうが、高校につながる学習、部活、生活の場を整えることを考えると、中学生にとっては形原中と統合された方が良いのではないか。

<サ>

西浦中学校にあって形原中学校にない部活が、形原中学校に統合されることで無くなってしまふかもしれない。生徒数が増えると部活の選択肢が増えるとは言い切れないうし、将来的には部活動のあり方そのものが変わってくる可能性もある。

- ・ 西浦中学校にあって形原中学校にない部活もあり、形原中学校に統合されるとそうした部活が無くなってしまふかもしれない。生徒数が増えると部活の選択肢が増えるとは言い切れないのではないか。
- ・ 部活が教員の大きな負担になっていることが問題になり、将来的には部活動のあり方そのものが変わってくる可能性もある。

生徒数が増えれば部活の選択肢が増えるのは一般的な事実だと思う。

- ・ 生徒数が増えれば部活の選択肢が増えるのは一般的な事実だと思う。

<シ>

一緒に勉強する人が増えて中学生にとっては切磋琢磨する機会が増えるかもしれないが、小学生にとっては中学生と接触して研鑽する機会が減るため、C案の評価は◎ではなく△ではないか。

- ・ 中学生にとっては一緒に勉強する人が増えて切磋琢磨する機会が増えるかもしれないが、小学生にとっては中学生のお兄さん、お姉さんと接触して研鑽する機会が減るためC案の評価は◎ではなく△ではないか。

<ス>

C案では小学校と中学校が物理的に離れてしまうので、小中学校の連携のしやすさは現状維持ではなく現状より低下すると思う。C案の評価は○ではなく△ではないか。

- ・ 小学校と中学校が物理的に離れてしまうので、小中学校の連携のしやすさで考えると、現状維持ではなく現状より低下すると思う。C案の評価は○ではなく△ではないか。

<ソ>

子どもと住民との交流機会なら、学校と公民館の複合だけでなく保育園と公民館の複合も評価すべきだ。

- ・ 子どもと住民との交流機会なら、学校と公民館の複合だけでなく、保育園と公民館の複合も評価すべきだ。

保育園は教育とは異なる範疇だと思うので、ここでは学校だけで評価すれば良いと思う。

- ・ 「教育」の観点ということだと、保育園はそれとは違う範疇だと思うので、ここでは学校だけで評価すればよいと思う。

C案では中学校が移転するため「学校と地区住民の交流」が現状より低下する。小学校と公民館が複合すれば交流の機会が増えるとは言えないと思うので、C案の評価は◎ではなく△ではないか。

- ・ 「学校と地区住民の交流」については、中学校の移転により現状より低下する。また、小学校と公民館が複合することをもって交流の機会が増えるとはいえないのでC案の評価は◎ではなく△ではないか。

D案では公民館が高台に移転し高齢者が行きづらくなるので、「学校と地区住民の交流」は現状より低下すると思う。D案の評価は◎ではなく△か○になるのではないか。

- ・ D案は公民館が高台に移転する案なので、高齢者が公民館に行きづらくなる。そのた

め「学校と地区住民の交流」が現状より低下すると思うので、D案の評価は◎ではなく、△か○になるのではないか。

<タ>

中学校の移転により地区内で運動会が開催されなくなると、地区としての盛り上がりが低下するためC案の評価は○ではなく△ではないか。

- ・ 中学校の移転により、地区内では中学の運動会が開催されなくなるので、地区としての盛り上がりに欠けてしまう可能性がある。C案の評価は○ではなく△ではないか。
- ・ 中学校の移転により地区内で運動会が開催されなくなると、地区としての盛り上がりが低下するためC案の評価は○ではなく△ではないか。

<チ>

様々な施設が複合されたり、保育園と複合されることによる中学校の学習環境の変化には、施設配置の工夫や防音対策で対応できるのではないか。

- ・ 様々な施設が複合される A 案は学習しやすさの点では△の評価になるが、防音対策をしっかりとするなどの工夫をすれば問題は解消されるのではないか。
- ・ 保育園児はうるさいかもしれないが、施設の配置の工夫や防音対策をすることで対応は可能だろう。

保育園と中学校が一緒になると中学生の学習の妨げになるかどうかは、現場の先生に聞いてみないとわからない。既に一緒になっている学校では、中学生が保育体験できるなどの教育的なメリットがあったという話も聞いたので、一長一短なのではないか。

- ・ 保育園と中学校が一緒にあると中学生の学習の妨げになるかどうかは、現場の先生に聞いてみないと分からない。
- ・ (WS オブザーバーの教育関係者に話を聞いたところ) 保育園が隣にある他の中学校では、中学生が保育園で職業体験しているなどのメリットもある。一方、野球などの部活動を行うときに保育園があると園児が危険になるデメリットもあるかもしれない。一長一短だろう。

<ツ>

小学校敷地に施設が集中する A 案では、グラウンドや体育館の共同利用は可能でも、現在よりも制約を受けられると思われるので、△の評価は妥当だと思う。

- ・ A 案は小学校敷地に施設が集中するので、グラウンドや体育館の共同利用は可能でも、現在よりも制約を受けられると思われる。△の評価は妥当だと思う。

④災害時の対応

<全般>

避難所収容人数や浸水予想地域など、防災に対する判断が甘いと思う。

- ・ 避難所収容人数や浸水予想地域など、防災に対する判断が甘いと思う。

防犯の視点が抜けているので、防犯面の評価項目を入れるべきだと思う。

- ・ 防犯の視点が抜けている。防犯面の評価項目を入れるべきではないか。

<テ>

現状の運用を前提とするとC案の収容人数は他の案よりかなり少ないのに、結果的に全ての案が同じ評価になるのは疑問だ。

- ・ 現状の運用を前提とするとC案の収容人数が他よりかなり少ないのに、結果的に他と同じ評価になるのは疑問だ。

公共施設再編と災害時対応策は直結していないと思うので、全ての案の評価が○でも良いと思う。

- ・ 公共施設再編と災害時対応策は直結していないと思うので、評価は全て○のままが良い。

<ト>

津波時の避難所確保は、全ての案で現状と変わらない○の評価になっているが、現状で住まいから指定の避難所までが遠いので、再編でそれを改善することはできないのか。

- ・ トで津波時の避難所確保は全ての案で現状と変わらない○となっているが、現在住まいから指定の避難所まで遠いのでそれを改善することはできないのか。

<ナ>

C案の「親が子どもを安全に引き取りやすくなったか」の評価が○になっているが、中学校が形原に移転するのだから△ではないか。

- ・ 「親が子どもを安全に引き取りやすくなったか」は、C案は○の評価だが中学校が形原に移転するのだから△ではないか。

⑤アクセス性への配慮

<ネ>

地区でまとまって通学したり、スクールバスを運行することによって、遠方に通学する場合でも安全性は確保できるのではないかと。そういう付帯条件をセットで考えれば評価は異なってくると思う。

- ・ 遠方に通学する場合であっても、地区でまとまって通学したり、スクールバスを運行することによって、通学の安全性は確保できるのではないかと。そういう付帯条件をセットで考えれば評価は異なってくる。

<ノ><ヒ>

駐車場は広ければ広い程良いと評価している傾向があるが、イベントの際に特設などで対応できる場合は、平常時を中心に確保すべき台数を決めて良いのではないかと。

- ・ 駐車場の確保について、駐車場は広ければ広い程良いと評価している傾向があるが、イベントの際に特設などで対応できる場合は、平常時中心に確保すべき台数を決めて良いのではないかと。

<ハ>

現在利用しにくい公民館の状況を基準にして、再編しても今と変わらないものが○の評価になっていることに違和感がある。現状よりも良くなる方策を求めたい。

- ・ 公民館は現状で利用しにくい。それを基準に考えて、今と変わらないものを○で評価していることに疑問がある。△のつくD案との差を明確にする意味で評価項目に入れているのだと思うが、なんとか現状より良くなる方策を求めたい。

⑥コスト

<全般>

子ども達の将来の負担を考えるとコストも重要な判断基準だと思う。

- ・ 子ども達の将来の負担を考えるとコストも重要だと思う。

コストは重要だが、100点満点中の25点分を占めるのには違和感がある。地域コミュニティや学校教育のことをもっと重視して評価したい。

- ・ 100点満点中、25点がコストの評価になることについて違和感がある。コストのことは重要だが、もう少し割り引いて評価すべきだ。地域コミュニティのことや学校教育のことのことをもっと重視したい。